リハビリテーション総合実施計画書

									計画部	P価実施日	1: 年	月	日
患者氏名: 男•女		男·女	生年月日(西暦)		年	月	日(歳)	利き手	右・右(類	右・右(矯正)・左		
主治医	リハ担当医		PT		ОТ		ST		看護		SW等		
診断名、障害名(発射	合併症	(コントロー	- ル状態)	:		y.	ハビリテー	ーション歴:					
日常生活自立度: J1、J2、A1、A2、B1、B2、C1、C2					認知症	高齢者の	日常生	活自立度	判定基準	售: I , Ⅱa,	Пb, Ша, Шb	, IV, M	[
評価項目・内容 (コロン(:)の後ろに具体的内容を記入)						短期	期目標	(ケ	月後)	具	体的アプロ	ーチ	
□意識障害(JCS、GCS):													

	日 吊 生 伯 日 立 及 : J1、J2、A1、A2、B1、B2、C1、C2 応 対 止 向 即 日 ジ 日 吊 生 伯 日 立 及 刊 足 基 卓 : 1 , 11 a, 11 b, 11 a, 11 a, 11 b, 11 a, 11 a, 11 a, 11 a, 11 a, 11 b, 11 a, 11 a									
	並供頂日 。	内宏	() (6)	のダフロ		短期目標 (ヶ月後)	具体的アプローチ			
	□意識障害(JC:□見部 高端	S、GCS)	失語)	:		777 ()				
	基本動作 寝返り(起き上がり(座位(立ち上がり(立ち上がり(立立位((□自立 (□自立 (□自立 (□自立		部介助 [部介助 [部介助 [部介助 [□全介助): □全介助): □全介助): □全介助): □全介助): □動時のリスクについて)					
	ADL (B. I.)	自立	一部	全介助	使用用具(杖、装具)、介助内容		具体的アプローチ			
			<u>介助</u> -			/===//4111041	> \			
	食事	10	5	0						
	移乗			m/.4m						
		15	10 ←	-監視ト						
	座れるが移れな		10 ← 5	監視 ト 0						
	座れるが移れな			J						
		\	5	0						
活	整容	\$\ \→ 5	5 0	0						
活動	整容トル動作	5 10	5 0 5 0	0 0 0	歩行:					
	整容トル動作入浴	5 10 5 15	5 0 5 0	0 0 0	步行: 車椅子:					
	整容 トル動作 入浴 平地歩行	5 10 5 15	5 0 5 0	0 0 0 0						
	整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可	∜\→ 5 10 5 15 th	5 0 5 0 10←歩 → 5	0 0 0 0						
	整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段	い→ 5 10 5 15 能	5 0 5 0 10←歩 → 5	0 0 0 0 7 7 8 9						
	整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段 更衣	い→ 5 10 5 15 能 10	5 0 5 0 10←歩 → 5 5	0 0 0 0 7 7器等 0 0						
	整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段 更衣 排便管理	たい→ 5 10 5 15 能 10 10	5 0 5 0 10←歩 → 5 5 5	0 0 0 0 7器等 0 0						
	整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段 更衣 排便管理 排尿管理	たい→ 5 10 5 15 能 10 10	5 0 5 0 10←歩 → 5 5 5	0 0 0 0 7行器等 0 0 0						

	評価	短期目標		具体的アプローチ		
	職業(□無職、□病欠中、□休職中、	退院先(□自宅、□親族宅、□Ⅰ	医療機関、			
	□発症後退職、□退職予定) □影話、***話、// ままりの	□その他 復職 (□現職復帰、□転職、□Ⅰ				
	職種・業種・仕事内容:	□復職不可、□その他				
参加	経済状況:	復職時期:				
<i>≫</i> .//1H		仕事内容:				
	社会参加(内容、頻度等):	通勤方法: 家庭内役割:				
	余暇活動(内容、頻度等):	社会活動:				
	-t	趣味:				
	身長 ^{#1} :()cm、体重:()kg、 BMI ^{#1} :()kg/m ² #1 身長測定が困難な場合は省略可	摂取栄養量:(目標: kc 体重増加/減量:(目標:	cal) kg)			
	栄養補給方法(複数選択可):	中里坦/川/ 水里・(口/示・	Ng)			
	□経口(□食事、□補助食品)	栄養補給方法(複数選択可):				
	□経管栄養、□静脈栄養(□末梢、□中心)	□経口(□食事、□補助食品)	1)			
νγ . × -	嚥下調整食の必要性: □無、□有(学会分類コード:)	□経管栄養 □静脈栄養(□末梢、□中心)	<i>,</i>)			
栄養 ※	栄養状態: □問題なし、□低栄養、□低栄養リスク		,			
^	□過栄養、□その他()	その他:				
	【「問題なし」以外に該当した場合、以下も記入】					
	必要栄養量: ()kcal、たんぱく質()g					
	総摂取栄養量 ^{#2} (経口・経管・静脈全て含む):					
	()kcal、たんぱく質()g #2 入院直後等で不明な場合は総提供栄養量でも可					
	抑うつ:					
	[连宋·久不刊					
心理	障害の否認:					
	その他:					
	同居家族:	自宅改造				
	let 1/2 the fee	□不要、□要:				
	親族関係:	福祉機器 □不要、□要:				
環境	家屋:	社会保障サービス				
垛児		□不要、□身障手帳、□障害學	年金			
	家屋周囲:	□その他:				
	交通手段:	介護保険サービス □不要、□要:				
	発病による家族の変化	退院後の主介護者				
	発病による家族の変化 社会生活:	□不要、□要:				
第三		家族構成の変化				
者の	健康上の問題の発生:	□不要、□要:				
不利	 心理的問題の発生:	家族内役割の変化 □不要、□要:				
		家族の社会活動変化				
		□不要、□要:				
1ヵ月	後の目標:	本人の希望:				
		 家族の希望:				
11.50	ジリテーションの沙皮ナタ!・	f-ral	۸ ∖∖∆∋ıı(x±≥l ::	ਜ ਂ .		
טייינן	ジリテーションの治療方針:	ارم ا	水泊訓練計 面	叫:		
退院						
	7 4774					
退院	後のリハビリテーション計画 (種類・頻度・期間):					

本人・家族への説明:	年	月	日	 説明を受けた人:本人、家族()	署名:		

説明者署名:

(リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)

退院後の社会参加の見込み:

- 1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について」(平成3年1 1月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1, J2, A1, A2, B1, B2, C1又はC2 に該当するものであること。
- 2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年 10 月 26 日 老健第 135 号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I , II a, II b, III a, III b, IV 又は M に該当するものであること。
- 3. 活動の欄におけるADLの評価に関しては、Barthel Index に代えてFIMを用いてもよい。
- ※ 回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は、「栄養」欄も必ず記入のこと(本計画書上段に管理栄養士の氏名も記入)